

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 06

「減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ」を開催

弘本由香里

2007年11月、内閣府の中央防災審議会が内陸型直下地震の被害想定を公表しました。国内最大級の被害を想定されたのが、大阪の上町断層です。

もしも上町断層が動いたら…。何万人という犠牲者の数が語られる一方で、具体的なまちと暮らしの状況を想像することは容易ではありません。想像するのは容易ではありません。そんなとき、もしもの場面を想像する、一つの入り口を見つけました。それが減災ゲーム「クロスロード」との出会いです。上町台地ならではの、お寺が並ぶあのまちで、多文化が息づくあのまちで、長屋が残るあのまちで、新しいマンションで、時を重ねたコミュニティで…。浮かび上がるさまざまな声。減災・防災への想像力は、台地とともにまちに生き会う発見への入り口でもあるようです。

近未来の住まいと暮らしを探求する大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 では、昨春からまちと暮らしをつなぐささやかな試みを始めています。1階に設けた「U-CoRo(ゆーころ)」のガラス・ウォールをインターフェイスに、上町台地のまつりや子どもと遊び、いのちをまもる智慧、緑と鳥や地域の伝統野菜をテーマにウィンドウ・ディスプレイを展開してまいりました。第6弾となる今回の展示では「減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ」をテーマに、ゲームの紹介やドキュメントとあわせ台地の地形図や模型もご覧いただけます。台地の姿と暮らしのつづやきにふれていただくことが、いのちをまもる智慧を育む出会いにつながっていくことを願っています。

展示内容と見所

- (1) 上町台地の風土特性と災害リスク(上町台地の立体模型/土地条件図/地震・水害のハザードマップ)

上町断層は大阪府の北部から南部に続く断層帯ですが、その中心部は大阪市内を南北に走る洪積台地・上町台地に沿って地中深くに潜んでいます。

上町台地には、小さな谷や尾根、坂や崖など細かな地形がたくさん刻まれています。また、人為的に削られた尾根や埋められた谷も数多く存在しています。周辺の平野部にも、数十センチ



単位の高低があります。ほんの小さな地形や土地の成り立ちの違いによって、自然災害が生じる可能性や被害の大小が左右されることがあります。上町台地の微細な地形まで感じ取ることのできる「立体模型」や、土地の成り立ちを読み取ることのできる「土地条件図」、地震・水害の「ハザードマップ」をご覧いただきながら、暮らしを支える台地の風土特性と身近な環境に潜む災害リスクに思いを馳せます。

- (2) 上町台地界限 5 会場で体験した減災ゲーム「クロスロード」のドキュメント(もしも…の場面で、多くの人はどんな選択を?)

被災体験をもとにつくられた減災ゲーム“クロスロード”<sup>( )</sup>のクエッションカード。無作為に選んだ問いをもとに、災害時に直面する数々のジレンマ、いろいろな立場に身を置きかえて、より多くの人の判断や行動を想像

してみます。上町台地には特有の地形や土地の成り立ちと一体で育まれてきた暮らしとともに、特徴のある住環境が集積しています。たとえば、お寺が並ぶまち、多文化が息づくまち、たくさんの長屋が残るまち、新しいマンション群、時を重ねたコミュニティなど。上町台地界限の 5 つの場所「からほり・練、



「下寺町・應典院」、「NEXT21」、「五条界限(五條公園会館)」、「コリアNGOセンター」で“クロスロード”を体験してみました。

浮かび上がってくるさまざまな声は、正解のない問いへのとまどいにはじまり、やがて個々の暮らしとまちの関係を、災害という断面からリアルに見つめ、受け止め、考える方向へと向かっていきました。たくさんのつぶやきの中から、一部をドキュメントとしてご紹介します。

( )クロスロードは、災害時の対応をシミュレーションするカードゲームです。文部科学省の「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたもので、2004年7月に最初の「神戸編・一般編」が完成。その後、「市民編」のほか、いくつかの別バージョンがつけられています。制作・著作：Team Crossroad チームクロスロード(網代剛、吉川肇子、矢守克也:50音順)

(3) さまざまな減災ゲームや教材の紹介(カードゲーム/すごろく/カルタ/紙芝居)

日常の暮らしの中で、非日常の災害の場面を想像したり、減災の智恵を身につけていくことは、案外難しいものです。そこで身近で親しみやすい入り口として考案されたのが、減災ゲームや教材です。クロスロードのほかに、命を守る姿勢を学ぶ幼時向けのカードゲーム「ぼうさいダック」、大人から子どもまでいっしょに楽しめる防災すごろく「GURAGURA TOWN(ぐらぐらたうん)」、家族で防災1年間「防災すごろく・大ナマジン」、災害時のとっさの行動を身につける防災紙芝居「みんなのみかた ぼうさいマン」、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区御菅(みすが)地区のみなさんがまちへの思いを込めてつくった「御菅カルタ」をご紹介します。

協力(ワークショップ・情報提供等)

今回の企画は、上町台地境界での減災ゲーム体験ワークショップにご協力くださったみなさま、上町台地の災害特性や、減災・防災ゲームに関する貴重な資料・情報をご提供くださったみなさまほか、多くのご支援によって実現しているものです。心からお礼申し上げます。

上町台地からまちを考える会、大阪城天守閣、應典院、からほり倶楽部、(特活)コリア NGO センター、サロン de ありす/(特活)和文化伝承協会、NEXT21 入居者自治会、(有)富士原文信堂、船木伸江さん、(特活)プラス・アーツ、まち・コミュニケーション、矢守克也さん、そのほかのみなさま(50音順)

**NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 06**

**「減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ」**

期間 2008年9月16日(火)～2009年1月23日(金)10時～17時頃

会場 大阪市天王寺区清水谷6-16 NEXT21内1階北側 U-CoRo

主催 大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL)

共催 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

企画 U-CoRo プロジェクト・ワーキング(橋本護・早川厚志・弘本由香里)

問合せ先 CEL 弘本(電話 06-6205-3518)

展示内容の一部を収録した小さな冊『U-CoRo 独案内(ひとりあんない)』を会期中(平日 10時～17時頃)配布しています(独案内とは、まちや物事に不案内な人を助ける携帯便利な冊子のこと)。

NEXT21の3階以上は住戸フロアとなっておりますので、立ち入りはご遠慮ください。